

冬期バリエーション 伯耆大山北壁別山中央稜

豊中勤労者山岳会 & 山の会二十渉: 岡林絵里香

39期中級登山学校卒業の同期2人と冬期バリエーション入門の伯耆大山北壁別山中央稜を初見ながら三人の力を合わせて完登することができました。

日程: 2019年2月23日(土)

天気: 雪からくもり少し晴れ午後から風が強くなる

場所: 鳥取県 大山北壁別山中央稜ルート

メンバー: CL 土田 直樹(大阪マウンテンクラブ) ・七野 太陽(泉州勤労者山岳会)

岡林 絵里香(豊中勤労者山岳会 & 山の会二十渉)

◆ 行程 ◆

南光河原駐車場(6:00 発) → 大神山神社(6:25) → (7:00)元谷避難小屋(7:50 発)
(9:00)別山中央稜取付き(9:20発) → 1P目(9:55) → 6P目(11:55) → 7P目(13:40) →
8P目(14:40) → 別山終了点(15:00) → 支点より吊尾根へ懸垂 → 夏道9合目(16:00) →
6合目避難小屋(16:35) → 1合目(17:30) → (17:50)南光河原駐車場

車内での仮眠で寝不足気味の私たちは南光河原駐車場を6時に出発し、途中の大神山神社で安全登山を祈り、元谷避難小屋に着いたのは7時頃だった。装備を装着する為に小屋に入ると、アルパインの方達でいっぱい。聞くと兵庫労山と京都労山の混合チームが11名、この元谷避難小屋で泊まるそうだ。小屋泊にしないで良かったと思うと同時に、この大勢が別山中央稜を目指したら激混みではないかと不安がよぎる。トイレと装備の装着を済まし、外でアイゼンを付け、いざ出発！

ここ最近降雪も無く、雪もしまっていたのでワカンいらずで楽々と取付きまでいけると思っていたら、大勢の方が弥山尾根の方へ歩いて行くのに釣られて、私たちも弥山沢の左側を登ってしまっていた。実際は弥山沢の右側を登っていかないと行けなかった。軌道修正をし急な斜面を登りきると、別山中央稜取付きに着いた。ちょうど先行パーティ2人が登りはじめるところで、後ろを振り返っても人は来ない。私たちはすぐに準備にとりかかった。シングルロープでセカンドはタイブロックやロールンロックで登る案もあったが、今回は中級登山学校で習ってお馴染みのダブルロープで登ることになった。すると、必然的にリードは一人だけがやらなければならないことに。CLの土田さんがオールリードすることになった。

9時20分、いよいよ私たちの初見の別山中央稜の登攀が始まった。今回は全部で8ピッチで登った。1ピッチから5ピッチまでは、雪が少ないブッシュだらけの尾根を登っていくが、左側はもろい岩肌が出ている。ブッシュにアイゼンをひっかけないように慎重に登らないといけませんが、左手にブッシュつかんで右手でアックスをきかせたり、支点に使ったりと意外とブッシュは役立ちました。途中で左側の弥山尾根西稜を見ると沢山のパーティーが登っていましたが、別山中央稜は、先行パーティーと私達の2パーティーでした。

6ピッチ目から岩壁の基部となり、もろい岩壁を登って行きます。このころから風が強くなり始めました。支点はリングボルトやハーケンがありましたが、核心の7ピッチ目の支点は、リングボルトが1個だけだったので、カムも使って支点を作りました。核心は、左側に足を置きたいのに岩は乗ってるだけのもろそうなやつ、左手で左上の登る方向にアックスをきかせようにも頼りなげ、頭上の岩はブッシュに雪が付いせり出し

ている。なんとか左足をハイステップ気味に岩の上に置き、左手のアクスをきかせ登りました。(リードの土田さん、よーやったなあ〜)7ピッチ目の支点も、ブッシュでとりました。8ピッチ目は、雪の急斜面をトラバースし斜面を登り別山ピークへ着きました。ここもブッシュで終了点となりました。

すでに時刻は15時で、ようやく登って来た〜と思ったら、ここからは滑落する危険がいっぱい。気を引き締めなおし、別山ピークの狭い尾根から出ているブッシュにアイゼンをひっかけないように気をつけながら懸垂支点へ。そこから、吊尾根に懸垂下降し、またもや狭い尾根のすぐ右横を慎重に進み広くなった急斜面を登って大山夏道へ。夏道に合流した時は、別山ピークに着いた時よりも感激しました。三人で握手を交わし、横殴りの強風の中、下山開始です。

途中、別山中央稜えます。「あー、あの尾根を私たちは登って来たんだ」と感無量。でも、気は抜かず下山し続けます。元谷小屋から飲まず食わずで、七野さんがシャリバテ気味でパンをほおばります。すると、下山が早い早い、途中で振り返り待っていてくれるのですが、ある程度私が近づくと歩きだすの繰り返しで、逃げたワウコを追ってる状態に！(笑)

18時前に駐車場に着き、強風で体の芯まで冷えた体を温泉で温まり、テントで今日の成果を祝いビールで乾杯しました。美味しい格別なビールとなりました。七野さんが用意してくれた美味しいモツと土田さんが家で切ってきてくれた野菜で作ったモツ鍋をあてにお酒がすすみます。普段、あまり飲まない七野さんもビールがすすんでましたが、22時を過ぎるあたりでダウン。「よし、ツッチー呑むぞ」と土田さんに言うも、「今日はもう疲れた〜勘弁して下さい〜。」とシュラフに潜り込み、寝始めました。グーグー寝ている二人の間で、私のブシュッと缶ビールを開ける音がむなしくテントに響き渡り夜は更けていきました…。

今回、中級登山学校で出会った同期と初見で大山北壁別山中央稜を完登できたことは、私にとって大きな経験と財産となりました。計画を立ててくれ、車出しから運転までしてくれたツッチー、テントの手配からビールまで持ってきてくれた七ちゃん、ほんまにありがとう。よく考えたら私は何をしたんだろうか??? まあ、ええか(笑)